

響き合ふ笑顔の連鎖

四日市メリノール学院
中学校・高等学校 Sクラブ・聖歌隊

彩りゆたかな声で人々を楽しませる、

四日市メリノール学院中学校・高等学校 Sクラブ・聖歌隊
チャリティーコンサートによる被災地支援や、

老人福祉施設・医療センターでの慰問演奏をしています。

元気いっぱいの歌声で、聞く人も、自分たちも笑顔になります。

日々の練習を欠かさず、
いつも最高の歌を届ける、

届かないさわやかな歌声が、
音楽室から校内に広がっていく。

重なりあって弾む多彩な音に耳を
すませば、見る世界が華やかに色
づき、笑みが浮かびます。聞く人
を魅了する音を奏でるのは、四日
市メリノール学院中学校・高等学
校のSクラブ・聖歌隊のメンバー
です。



右)練習中はマスクを着用。お互いの声が聞こえづらい中で、息を合わせます

左)表情は声色に影響します。口を大きく開け、笑顔で1曲を歌い上げました



指揮・指導は勝野先生。中学生1年生と高校3年生では声質が違うので、ぱらつきが出ないように気を配ります



指揮・指導は勝野先生。中学生1年生と高校3年生では声質が違うので、ぱらつきが出ないように気を配ります



授業では音楽を教える原先生。コンサートや慰問会での伴奏を担当しています

できるることを探して始めた
チャリティーコンサート

聖歌隊は、2011年12月に東日本大震災の被災地を訪問。地元の人々と交流する中で、「自分たちでできることはなにか」と考へて、もともと実施していたクリスマスコンサートを復活させることになりました。

「お客様の反応を見ながら、生徒たちがどんどん成長していく姿を見ています。最初はぎこちなかつた笑顔も、上級生になるにつれて綺麗になっていく」と勝野先生。「聖歌隊の笑顔がお客様の笑顔につながって、その表情を見て生徒たちの表情がまた柔らかくなる。笑顔の相乗効果です」

思うように活動ができない中で、コンサートに向けて努力を続ける生徒たちがどんどん成長していく姿を見ています。

聖歌隊。その美しい歌声が、校内から地域へ響き渡る日が楽しみになります。

間演奏など、学内外合わせて毎年約20の場所で歌声を披露しています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で発表の場が激減。演奏できたのは、10月の文化祭のみです。「モチベーションを保つのが大変ですが、状況はいつか変わります。必要な時に、最高のパフォーマンスができるよう伝えています」と話すのは、顧問の原愛子先生。練習中はマスクやフェイスシールドを着用し、1回だけ外して合唱します。

大切にしているのは、腹式呼吸や姿勢といった体の基礎。この強化によって、声の響きが大きくなりそうです。メンバーは、中学1年生から高校3年生まで。3年前から指導する外部指導者の勝野

近鉄百貨店四日市店でのチャリティーコンサート(左)、グリーンパーク岡山での夏祭り(右)。簡単な振り付けを交えて、観客にも参加してもらいます



四日市
メリノール学院

(場所) 四日市市平尾町2800
(電話) 059-326-0067

(コンサート予定)

12月20日(日) 14時 ~ 六華苑

*入苑料が必要、雨天中止

ウェBSITEはこちら



外部指導者
勝野明子先生



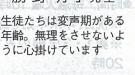
顧問
原愛子先生



部長(2年生)
黒木菜南さん



前部長(3年生)
岩田悠寿さん



生徒たちは変声期がある年齢。無理をさせないように心掛けています

今後は、さらに明るく元気な聖歌隊にしていきた
いです

小学生のときに聖歌隊のコンサートを見て、入隊を決
めました

生徒たちのモチベーションを維持のため、積極的に
声掛けをしています